

たかじょう はかまこしやま
コース11 花の高城・袴腰山



リーダー CL S.N.

実施日 令和3年5月24日(月) 天候 曇り グレード B

参加者 6人(男性 1 女性 5)

コースポイント

ポイント	到着時間	出発時間	備考
東三条駅		8:15	全員 JR 新津駅 7:26 発に乗車
荒沢郵便局前バス停	8:45	8:45	五十嵐川橋から八木ヶ鼻までの行程を望む
高城登山口	9:19	9:19	「ヒメサユリの小径」ぬかるみ道を登る
はじめの眺め	9:38	9:45	何故か少ないヒメサユリを見ながら歩く
高城城址	10:35	10:50	広場から下田の田園風景を望む
心臓破り	10:56	10:56	ブナ林ゾーンはアップダウンがありきつい
袴腰山山頂 526.1m	11:46	12:23	昼食と記念撮影。下山は急下降の連続
見返りの丘	12:52	12:55	袴腰からの急下降の下山道を眺める
三角山	13:07	13:09	まだまだ気を抜けない下山道
八木神社・登山口	14:34	14:47	500年の杉の大木。御神水で喉を潤す
八木前バス停	14:53	15:06	ハヤブサの繁殖地八木ヶ鼻の壁を眺める
東三条駅前バス停	15:45		JR 東三条駅で解散

山行等概要(幹事のコメント)

- ・ 2週間早く梅雨入りした様で気を病んだ。当日は曇り空のハイク日和となった。
- ・ 見所の一つ「ヒメサユリの小径」でヒメサユリが一面に咲き誇っている姿を見ていたが、何故か咲いているヒメサユリは数える程で不思議であった。翌日の朝刊「新潟日報」からその訳が分かった。虫害「ソウムシ、イモムシではないか？」とのことであった。
- ・ 「はじめの眺め」で薄曇りの彼方に、未だ残雪の守門岳が望められ目を楽しませてくれた。
- ・ ここからは平坦の多い尾根沿い歩き、水を張った田園の美しい風景が見られ、また遠くに米山までの眺望が効いた。ところが私ご老体にはアップダウンが厳しい。
- ・ 袴腰山頂はヤマツツジが咲き始め、眺望は粟ヶ岳から守門岳までの山容を眺めることができた。
- ・ 下山道は乾いて見えるが滑り易く、急こう配を慎重に下った。私は2回も滑り、足腰が弱くなったと痛感した。
- ・ 下山口の八木神社では息を吹き返す、冷たい御神水に恵まれた。
- ・ 6時間の行程、無事に下山でき感謝いたします。



袴腰山登山に参加して

237 H.R.

例年ひめさゆりの花が5月の中旬から下旬にかけて開花するので久しぶりにひめさゆりの花に会いたくて今回の山行に参加しました。

今年は花の開花が早いとの情報があり心配しながらの山行となりました。総勢6人と少人数での参加者でしたが、その分皆さんと和気あいあいでお花を見たり、景色を眺めながらのゆっくり登山となりました。電車とバスで、登山口のお寺の駐車場に到着。ひめさゆりのお祭りの期間なのでさぞかし混んでいるだろうとおもっていたのですが、今年のまつりはコロナ禍の関係で中止になったようで、意外と空いていました。お祭りの期間の協力金も払わず、駐車場のわきの林道を進み、ひめさゆりの小径の登山口に着きました。この先のひめさゆりのお花が咲いているのを楽しみに登山開始。登山道は昨日の雨でぬかるんでいて歩きにくい状態でした。お寺の分岐まで緩やかな登りを進む。分岐近くになったら、ひめさゆりのピンク色の可憐なお花が迎えてくれました。やはりとてもきれいです。写真も1, 2枚写したがまだ先に群生が見れると思い、あまり写真を写さず先へと進む。高城城址までは、はじめの眺め、ここでは見晴らしがよく、守門岳が目の前に見え景色を眺めながら休憩、二の坂、中の眺め、眺めの松、など名前が付けられた休憩場所があり、ところどころで休憩をする。やっとの思いで高城城址に着く。立派な避難小屋があり、ここでも景色を眺めながら休憩。それにしてもひめさゆりの花が咲いていません。年々ひめさゆりの花が減っているとの情報があったのですが、やはり情報の通りだったようで前に来たときはもっとたくさん



身を乗り出してヒメサユリをパチリ



「はじめの眺め」にて（守門岳を背にして）



高城へ、空堀のくぼ地から最後の登り

咲いていたような淡い記憶があります。そのあとが大変な登りが待っていました。「心臓やぶり」と名のついた急登です。なかなかの急登、喘ぎながら登るがなかなか終わらない。途中で下って来る人にもうどの位で着きますか聞いたら、まだまだこれからで、これが終わると、とどめの坂があるという。たいへんだ。喘ぎながらやっと上りついた。しばらく歩くと袴腰銀座と名のついた場所に着くがなんでこんな名前がついたのだろうと不思議に思いました。

見越しの松、五葉の丘と続き、とどめの坂。さあ最後のとどめの坂が始まる。約15分のきつい登りをなんとか頑張り袴腰山の山頂に到着。標識と鐘がありました。鐘を鳴らし山頂でお昼。栗ヶ岳もよく見えます。

みはらしのよいところでお昼ご飯、私は笹団子2個を食べました。山で食べる食事はやはりおいしいです。山頂ではハイキングクラブのS氏夫妻に出会う。私たちより一足先に下っていきました。昼食後山頂で記念写真を1枚写し、下りに入る。さあ気を引き締めて難所の下りになるがこれがなかなかの難所、いきなりの急降下、ロープがあるが足場が悪く粘土で滑りやすい。後ろ向きになり足場を確保しながら慎重にくだるが第一難関を突破し、ほっとする間もなくまたすぐに第2難関これもロープがあるがなかなかきつい。ところどころにひめさゆりが咲いていて和ませてはくれるが、それどころではない。三角山までアップダウンを繰り返し八木ヶ鼻の分岐に着き一休み。バスの時間の関係で八木ヶ鼻にはいかなくて八木神社のほうに下る。八木神社ではおいしい水を補給し登山靴を洗いバス停に、アップダウンのある変化にとんだ登山でスリルもありとても楽しかったのですが、ひめさゆりの花が思ったより少なかったのがちょっと残念でした。十数年ぶりの袴腰山でしたが体力が落ちているのが身に染みてわかった次第です。もう少し若さが欲しいです。とても楽しい登山でした。皆さんありがとうございました。



ブナ林を抜け袴腰山頂へ



袴腰山頂からの急傾斜は足を踏ん張って下山



「見返りの丘」にて（背景は袴腰山）